



碧南ロータリークラブ週報

第 2 7 5 6 回例会 平成 2 7 年 1 1 月 1 8 日

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

●齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

●本日のお弁当

だい忠

会 長 挨 拶

先週土曜日にロータリークラブが共催として市の健康を守る会と一緒に行了ました防災講演会がございました。当日、80名ほどの方に参加して頂きまして、雨の中ですが皆さん大変熱心に話を聴いて頂きました。特に今回の講演会に関しましては、起案から講師の先生のお世話、当日のお出迎えやお見送りまで全



山中寛紀会長

てを広報雑誌委員長の荻谷様にご尽力頂きまして誠にありがとうございました。また、クラブ会報副委員長の杉浦様には急遽当日来て頂き、撮影担当等含め最後までお付き合い頂きまして心より御礼申し上げます。この講演会は KATCH のニュースでも放送され、私どもロータリークラブの一般の方への周知にも多少役立ったのではないかと考えております。

ところで今年の1月にテロに見舞われたフランスですが、先週の13日金曜日にもパリで同時多発テロが起こり、140名ほどの尊い命が奪われるという悲惨な事件がございました。元々北アフリカや中東の方からかなりの数のイスラム系の人々がフランスに移住しておられるということで、現在フランスの人口の500万人弱がイスラム系の人々ということでございます。こういった方々がフランスの国の中に入ってきたときにヨーロッパ文明やフランスの仕来りや生活に溶け込めない、それから仕事や生活をしていく上で社会的地位において格差や差別が生じて長年歴史の中からテロに発展していく一因が起こってきたのかも知れません。

いわゆる格差社会と言われておりますけれども、こういったことが続いていくことは現在問題となっており、将来に不安がよぎる訳でございます。そこで思い出してみるのがロータリ

一の4つのテストで「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」という言葉がありますが、この4つのテストを今更ながらロータリアンとして噛み締めて社会の中で貢献していくことが世界の平和につながると感じた週末でございました。

本日は沈んだ気持ちの話になり申し訳ございませんが、この後の卓話でドローンの話を聴けるということで楽しみにしております。どうかよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告させていただきます。

- ・ 例会変更等のお知らせにつきましては幹事報告書の通りでございますので、お目をお通しください。
- ・ 先週と先々週の2回にわたりまして赤い羽根の共同募金のご協力をくださいまして誠にありがとうございました。皆さんから58,200円の浄財が集まりました。例年通りクラブから一部補填しまして70,000円を先日寄付させて頂きましたのでご報告致します。
- ・ 次週は衣浦グランドホテルでの移動例会になりますので、お間違いの無いようよろしくお願い致します。



新美雅浩幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 67 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 12 名)出席者 50 名	
出席対象者 50/62 名	出席率 80.65%
欠席者 17 名(病欠者 1 名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

山中 寛紀君 11月14日(土)共催で行った防災講演会には、会員の荻谷賢治様と杉浦秀延様には大変お世話になり、有難うございました。また、歯科医師会長伊藤先生にも熱心にご聴講頂き感謝です。

山中 寛三君 先回はつまらない卓話にもかかわらず立派な品物を頂き、有難うございました。

新美 宗和君 16日に2回目の白内障手術を終えて、両目ともめっちゃめっちゃキレイに見えるようになりました。普通に見えることがただうれしい!

長田 和徳君 今日の卓話は私の道楽です。気軽に聞き流して下さい。

服部 弘史君 本日の卓話講師、会員長田和徳さん、よろしくお願い致します。

荻谷 賢治君 11月14日の防災講演会、無事に終える事ができました。山中会長、お

疲れ様でした。そして、御参加の皆様ありがとうございました。それから、杉浦秀延さん、写真を担当して下さい、ありがとうございました。

卓 話

「今さら聞けないドローンの話」

会員 長田和徳君



長田和徳君

皆さん、こんにちは。本日はいつもの堅い感じではなくて、最近の私の密かな趣味でありますドローンでの空撮の話をして頂きたいと思いますのでよろしくお願い致します。

近頃ニュースで毎日のようにドローンという言葉を目にしますが、無人で飛ぶ飛行機のことをドローンと言います。元々は軍事目的でミサイルや射撃訓練用の無人飛行機を目指しており、さかのぼりますと第二次世界大戦の時にイギリス軍が空戦をするために無人飛行機を飛ばしたのが始まりでそれが女王蜂という名前で行っているらしく、戦後に発達してきて女王蜂の相手方の雄蜂のことを英語でドローンと言い、ドローンとなったと言われております。

色んなドローンがありまして、固定翼機はいわゆる飛行機タイプのもので気球みたいな形をしたものもあります。今の世の中で話題になっているドローンはマルチコプターと呼ばれるもので羽が3つ以上あるものになります。その中でも羽が3つあるのがトライコプター、4つあるのがクワッドコプター、6つあるのがヘキサコプター、8つあるのがオクトコプターと言われております。基本的に全て仕組みは一緒です。

ドローンがここ数年で頻繁に世の中にできるようになったのは、中国の DJI という会社が販売したものが爆発的に世界中で売れたためお騒がせしております。姫路城や首相官邸に落下したものは古いタイプのもので、毎年改良を重ねてきて現在のものはそんなに墜落しません。一般的に知られているヘリコプターの形とは違い、複数の羽があります。機体に GPS を搭載しており、高度と緯度を確認して自分の居る場所を補正しながら飛んでいます。

昔はヘリコプターと言えばラジコンの中の王様と呼ばれ、1回飛ばすと絶対落とすと言われるほど操縦が難しいものでした。ドローンは素人でも簡単に操縦ができ、手を離してもその場所でホバリングしていますので難しくありません。最近のものはカメラが搭載されており、超音波センサーが付いているため基本的には落ちません。落ちようとするすると下の目標物と超音波センサーで補正して 3m ぐらいのところでホバリングするようにできています。また、GO HOME という機能がありまして、送信機の電波が届かなくなると設定した高さに上がって飛んだ場所の緯度・経度に戻ってくるという機能が付いております。しかし、飛行時間が大体 20 分なので 15 分ぐらい遠いところに行きますと帰ってくる前に電池がなくなり、墜落する可能性があります。

私が飛ばして思うのですが、空中に浮いているものは絶えず見て操作しないと危ないところがありますので、20 分以上飛ばすというのは精神が持たず、20 分ぐらいがギリギリかなと感じています。

なんで飛べるかと言いますと、隣り合う羽が反対方向に回ることによってモーターの回転が打ち

消し合い、浮くというような仕組みになっております。前に飛びたい時は前に飛べという信号を出しますとコンピューターが後ろの羽のスピードを上げることにより前進します。後ろや横に飛ぶのも同じ仕組みになり、ほとんどコンピューター制御で動いているヘリコプターです。

また、なぜ画像が乱れないかということですが、これはここ1、2年で出てきましてジンバルという機能が付いております。地軸を確認して必ず水平に保つようになっています。元々ジンバルは大きなものでテレビ局などが使っていますが、それを小型化して入れ込んだことによって非常に綺麗な画像が撮れるようになりました。

私がドローンを飛ばして2年半ぐらいになるのですが、きっかけは朝ドラの「あまちゃん」のスタートで電車が走って行くのを上から追っかけた映像がありまして、どうやって撮っているのかということを知りたいとネットで調べましたら、マルチコプターを使っているということが分かり、興味があって始めました。

去年ぐらいにDJIから市販で使いやすいものが出てきたため、皆さんがやるようになり、事故が起きてしまい、最近は飛ばしにくい状況になっておりますがご興味がある方がいらっしやいましたらお声掛けください。

どうもありがとうございました。

次回例会案内

平成27年12月2日（水）

年次総会 次年度理事役員選挙